

## 憲法記念日 各地で集会

護憲・反戦平和訴え  
海北 憲法擁護富山県民連合

憲法擁護富山県民連合（又市征治、佐幸明代表委員）と県平和運動センター（山崎彰議長）は3日、富山市の総曲輪フェリオ前で街宣活動を行い、護憲や反戦平和を訴えた。又市氏は演説で、安倍内閣により現実味を帯びる改憲や外交関係の緊張に対して危機感を表した。

この日は「2014年憲法キャラバン」と題し、高岡、新川、砺波の3地区でも活動した。

海北

### マりに支援米送ろう

食糧難が続くアフリカのマリ共和国に米を送るため、滑川市柳原のやなぎはら保育園の園児が2日、同市坪川の農業、藤井宗一さん(65)方の水田で田植えをした＝写真。

アジア・アフリカ支援米運動に取り組む「食とみどり・水を守る富山県民会議」（中松清孝議長）が藤井

富山で社民・又市氏ら  
5/4 護憲訴える

憲法擁護富山県民連合と県平和運動センターは憲法記念日の3日、県内全域で憲法キャラバンを行い、チラシ配布や街頭演説を行った。

富山市の総曲輪フェリオ前では、社民党幹事長の又市征治参院議員が、憲法解釈による集団的自衛権容認を目指す安倍政権について、「国民には反対の声が多い。大きな声を上げ、許してはならない」と批判した。

(当面の予定)

- 9(金) 県消田連幹事会
- 12(月) 原水禁幹事会 (18:00自治労会館)
- 13(水) 志賀原核訴訟3周年原告団総会  
18:00 石川地場産センター  
記念講演 本和幸  
(原爆反対村を守る会)



さんの協力を得て毎年行い、13回目。年長児17人と地元の福寿会会員13人、同会議の6人が参加し、わせ品種のてんたかくを植えた。はだしで田んぼに入った園児たちは、泥に足を取られながらも苗を次々と植え、「楽しい」「泥が気持ちいい」と歓声を上げていた。上田市長が激励に訪れた。

収穫量は約210キロの見込み。8月末に園児らが稲刈りを行い、NGO マザーランド・アカデミー（東京）を通して現地に送る。

